

最終学歴	広島大学大学院 生物圏科学研究科 環境計画科学専攻 博士課程後期修了
称号／学位	博士(学術)
専攻(専門分野)	環境科学, 生物地球化学, フィールドサイエンス
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏等における光化学オキシダントの解析</li> <li>・河川の源流や上流における陰イオンやミネラルの調査</li> <li>・太陽黄経による大気環境動態分析</li> </ul>
所属学会／団体	環境科学会 / 日本生気象学会 / 土木学会など

## 主要業績

### 【著書】

- ・「多摩丘陵の自然と研究 - フィールドサイエンスへの招待 - (共著)(土器屋由紀子・小倉紀雄・安富六郎・内川武編)」134p. (2001) けやき出版

### 【学術論文】

- ・「広島県極楽寺山におけるガス状汚染物質の動態とマツ・広葉樹の樹木活力度との相関関係(苗村晶彦・中根周歩・佐久川弘・福岡義隆)」, 『環境科学会誌』Vol.10, pp.1-10(1997)
- ・「Climatological and Geographical Characteristics within Inversion Layers in the Presence of High NO<sub>2</sub> Concentration(Naemura,A., Tsuchiya,A., and Nakane, K.)」, 『Water, Air and Soil Pollution』Vol.130, pp.343-348( 2001 )
- ・「紀伊田辺における降水およびアカマツ樹幹流中の溶存化学成分(苗村晶彦・花光重一郎・中根周歩)」, 『環境情報科学論文集』, Vol16, pp.235-238.(2002)
- ・「奥秩父および多摩丘陵におけるスギの林内雨, 樹幹流の測定(苗村晶彦・吉川哲生・佐藤敬一・土器屋由紀子)」, 『日本生気象学会雑誌』, Vol39,pp.121-125( 2002 )
- ・「秩父多摩甲斐山岳域における森林渓流水質の標高別分布(苗村晶彦・藤田俊忠・倉田斉・土器屋由紀子・楊宗興)」, 『自然環境科学研究』, Vol.16, pp.1-6(2003)
- ・「Acidic Deposition on Japanese cedar (*Cryptomeria japonica*) in Mountain and on Suburban Hill(Naemura, A., Yoshikawa, T., Yoh, M., Ogura, N., and Dokiya, Y.)」, 『Natural Environmental Science Research』Vol.20, pp.13-17(2007)

- ・「2006年8月4日の首都圏周辺の高濃度オゾンの出現( 苗村晶彦・渡邊善之 )」, 『自然環境科学研究』, Vol.28, pp.5-9(2015)
- ・「神奈川県茅ヶ崎市における二十四節気別のNO<sub>2</sub>濃度( 苗村晶彦・渡邊善之 )」, 『戸板女子短期大学研究年報』, Vol.58, pp.33-37( 2015 )
- ・「東京タワーにおける季節別の夜間高NO<sub>2</sub>濃度とポテンシャルオゾン濃度との関係( 苗村晶彦・渡邊善之 )」, 『日本生気象学会雑誌』, Vol53, pp.33-39( 2016 )
- ・「横浜市大岡川源流域における森林渓流水質( 苗村晶彦・楊宗興 )」, 『環境科学会誌』 Vol.29, pp.201-205(2016)
- ・「福島県中通りににおける阿武隈川水系源流域の渓流水質( 苗村晶彦・渡邊善之・小柳信宏・楊宗興・渡辺幸一 )」, 『土木学会論文集G(環境)』, Vol.73, pp.172-176(2017)
- ・「太陽黄経による季節区分と大気環境の問題( 苗村晶彦・福岡義隆 )」, 『戸板女子短期大学研究年報』, Vol.60, pp.55-64(2017)

#### 【最近の学会発表】

- ・「山梨県における高オゾン濃度時の特徴( 苗村晶彦・渡邊善之 )」, 第54回日本生気象学会大会, 2015年11月名古屋
- ・「東京, 福島および釜石における太陽黄経によるNO<sub>2</sub>の季節変動( 苗村晶彦・渡邊善之 )」 第55回日本生気象学会大会, 2016年11月札幌
- ・「Oxidant concentration by the solar term in Minami-Aizu mountainous region, Fukushima Prefecture, Japan(Naemura, A., Nakamura, K., and Fukuoka, Y.)」, Symposium on Atmospheric Chemistry & Physics at Mountain Sites, 2017年11月御殿場

#### 【受賞】

- ・第7回(平成10年度)日本生気象学会研究奨励賞「Climatic Inversion Layer and Atmospheric NO<sub>x</sub> Concentration on the Slope of Forest Decline Area in the Seto Inland Sea District, Japan」